イチョウウロコゴケ（ツボミゴケ 科） **兵庫県：Bランク**

Tritomaria exsecta (Schmidel) Loeske **環境省：－**

種の概要

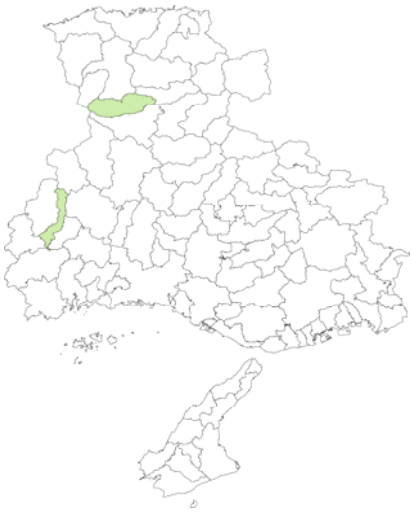
褐色をおびる。茎は長さ1.5cm、おもにヤスデゴケ型分枝をする。葉はほぼ横につき、斜めに開出して強く背側に偏向し、やや重なり、樋状、長さ0.8-1.1mm、幅0.5-0.7mm、不等に(2-)3裂し、裂片は腹側が著しく大きく、鋭頭。葉身細胞は厚壁、トリゴンは小さく、表面にベルカがある。油体は各細胞に3-5個、ほぼ球形、微粒の集合。無性芽は1-2細胞からなり、赤色で目だつ。亜高山帯以上の倒木や腐植土上に生育する。

国内分布

北海道～九州

県内分布

関宮町，南光町



選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
				○		○

特記事項

以前記録のあった南光町では、生育を確認できなかった。

保護上の留意点

生育地の保全